

知事2期目1年の振り返り

2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい 安心安全で持続的に発展する埼玉県へ

2つの 歴史的課題

人口減少と超少子高齢社会の到来

激甚化・頻発化する災害、危機

課題への対応

① DX・行政改革

② 埼玉版スーパー・シティプロジェクト

③ サーキュラーエコノミー／ネイチャーポジティブ

④ 渋沢栄一起業家サロン(仮称)

⑤ 中小企業支援

⑥ 少子化対策・子育て支援

⑦ 埼玉版FEMA

⑧ ジェンダー主流化

② 埼玉版スーパー・シティプロジェクト

市町村のコンパクト、スマート、レジリエントの3つの要素を兼ね備えた持続可能なまちづくりを県が支援

【コンパクト】

必要な機能が集積しゆとりある“魅力的な拠点”を構築

【スマート】

新たな技術の活用などによる“先進的な共助”を実現

【レジリエント】

誰もが安心して暮らし続けられる“持続可能な地域”を形成

市町村のプロジェクト参加状況(令和6年8月時点)

- 46団体(県内市町村の73%)が参加済み
- 他の17団体もプロジェクトへの参加意向あり



県の主な支援内容

1 市町村事業化支援チームによる支援

・市町村ごとに編成し、プロジェクトの具体化を支援(14部局、54課で編成)

2 プロジェクト推進補助金による財政支援

- ①事業化検討補助: プロジェクトに基づくまちづくりの検討等を支援
- ②事業推進補助: 事業実施をソフト・ハードの両面から支援

3 まちづくりに関する技術支援

・都市整備手法に関する技術面での助言・提案



4 企業等とのマッチング支援

- ・応援企業等登録制度(R6.7月未登録数:173団体)
- ・交流会・ガバメントピッチの開催(R6.8月時点マッチング成立数:8件)

5 プロジェクトを加速させる新たな市町村支援

6 市町村事業と連携して実施する県事業

具体的な取組事例

【杉戸町】

- ・小学校跡地を活用した複合施設の整備
- ・県事業による周辺の道路・水辺の一体的整備



【秩父市】

- ・ドローンを活用した物資輸送



【入間市】

- ・EVを活用した災害時の電源確保

